

アプリケーション事例 (7/9)

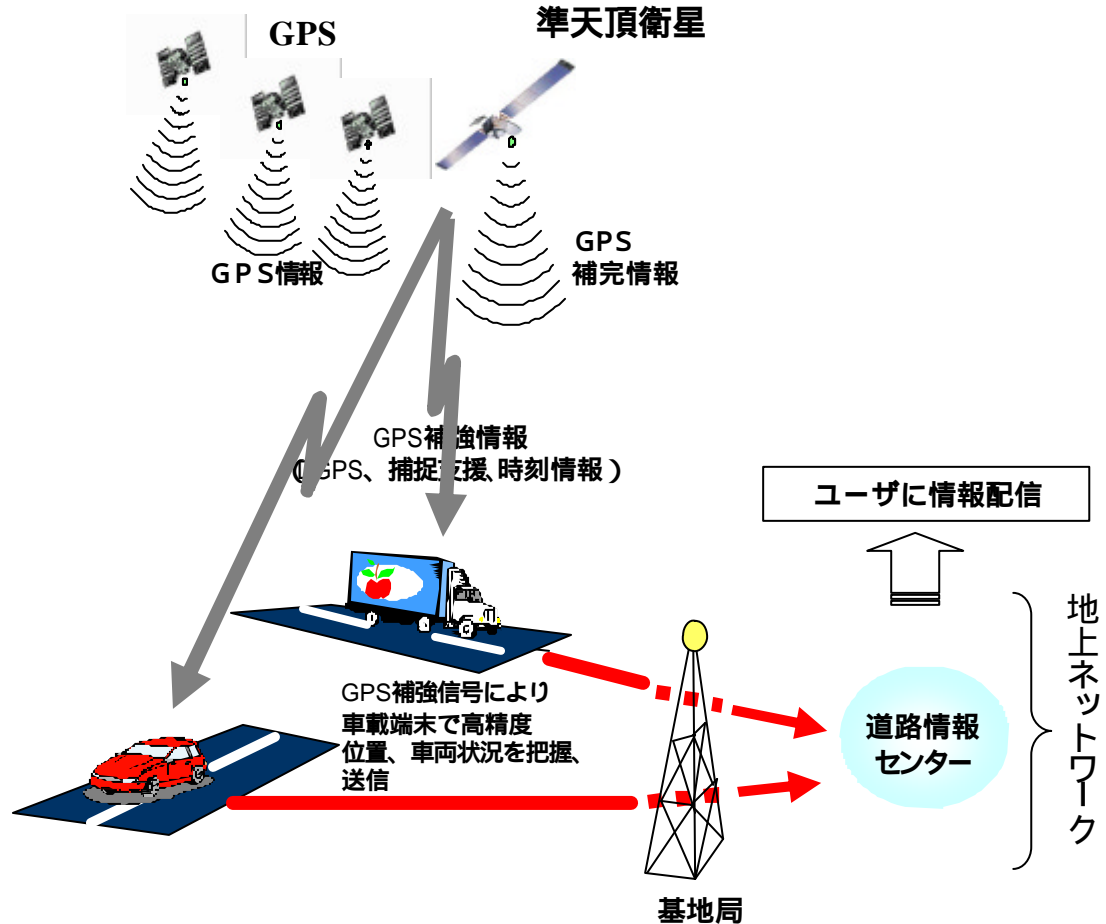
プローブカーシステム (1/2)

システム機能

準天頂衛星からのGPS補完情報及びGPS補強情報により、自動車の高精度位置を把握。
その場所での、時刻、運転状況（ライト点灯、ワイパー稼働、走行速度等）を道路情報センターに送信する。

地上ネットワークの活用

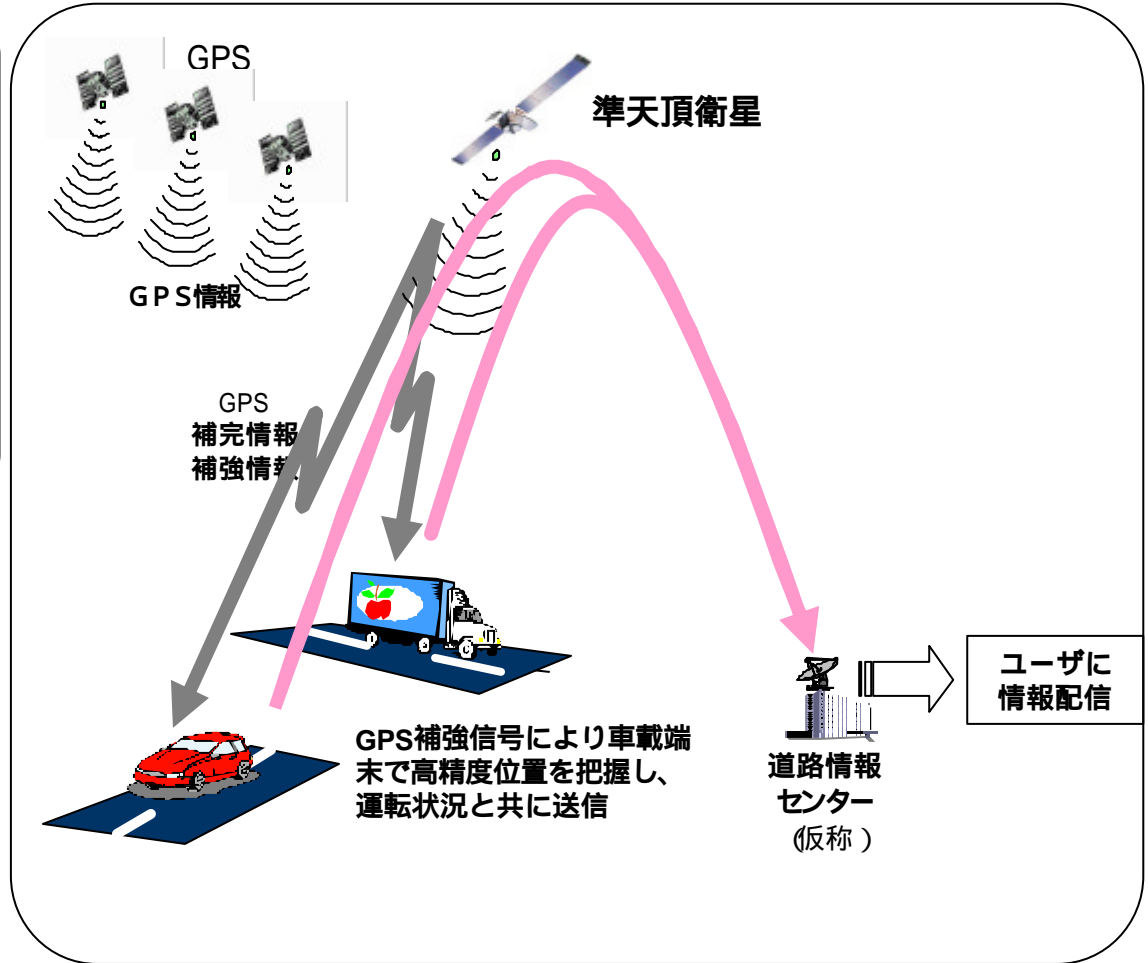
プローブカーとなる車の、個々の運転状況の送信には地上ネットワークを活用する。



アプリケーション事例 (8/9)

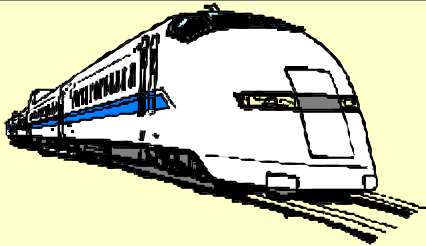
プローブカーシステム (2/2)

自動車からの情報を道路情報センターに送信する伝送経路を、衛星経由としたケース (地上インフラのないエリアの場合)



アプリケーション事例 (9/9)

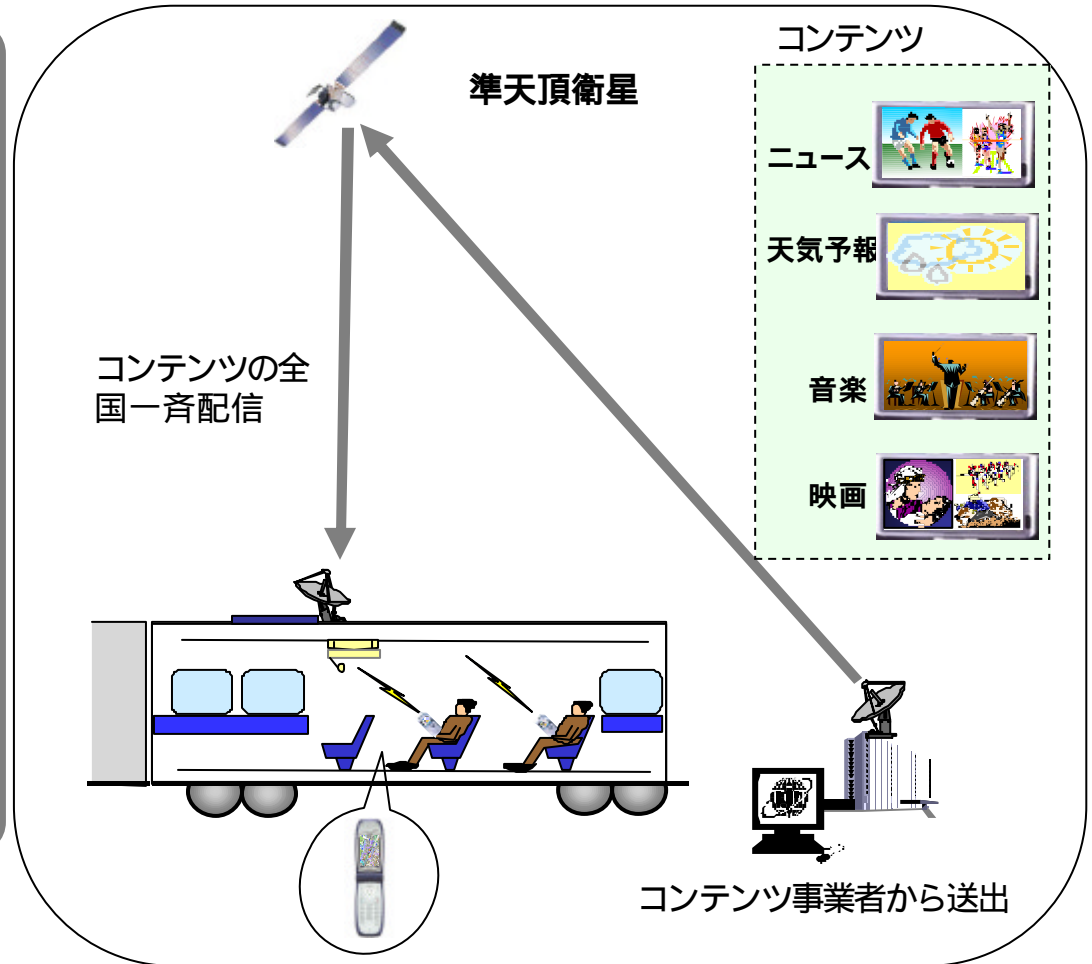
列車向け情報提供 (乗客向け)



<システム機能>

準天頂衛星から、列車に向けて蓄積型コンテンツを配信し、列車内で改めて、ユーザ端末に配信する。

ユーザは、列車内/駅構内etc.のホットスポットエリア内において、携帯電話でこのサービスを受けられる。



事業収支シナリオ

衛星測位補完実用システム整備 運用を民間としてASBCが負担したケースの比較

	現在の基本事業計画 における売上規模 (76億円 / 年) [*]	衛星の能力を最大限 使用した場合の売上 規模 (91億円 / 年) [*]
民間による測位補完 関連費用負担なし (基本事業計画)	単黒 : 3年目 累損 : 10年目	単黒 : 1年目 累損 : 4年目
民間が測位補完関連 費用を負担	単黒 : 不可能 累損 : 不可能	単黒 : 14年目 累損 : 不可能

* : 売上の他に測位補完運用受託収入 (11億円/年)あり。